

【科目名】理学療法技術学Ⅲ（徒手医学）		【担当教員】高田 治実、佐藤 成登志 (メールアドレス)						
【授業区分】 専門分野（特論）	【授業コード】 3-20-0750-0-2	【開講時期】4年次 後期 【選択必修】選択 (オフィスアワー)						
【単位数】1単位	【コマ数】8コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし								
【講義概要】 (目的) 中枢神経障害や運動器疾患患者の臨床所見として観察される痛みに対して徒手での理学療法について、その特殊性と理論について理解を深め、理学療法の特長技術を学修することを目的とする。 (方法) 実技を交えた講義を中心とする。								
【一般教育目標(GIO)】 ・本講義では、痛みのメカニズム、評価法および治療的アプローチについて教授し、理論に基づいた痛みに対するアプローチを行えるようにする。 【行動目標(SBO)】 ・痛みのメカニズムに基づいた治療的手技に関する思考能力を高める。筋の触察方法・受容器の効率的な刺激法を学修する。痛みの改善を教授し理解を深める。								
【教科書・リザーブドブック】								
【参考書】								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90						10	100点
評 取り込む力・知識								

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)					
1	痛みの基礎知識・メカニズムを知る。								
2	痛みは、理学療法でどのようにアプローチするか？								
3	筋の触察法を学修する。								
4	痛みの評価法についての考え方・実習								
5	同上								
6	痛みの治療的アプローチの実習								
7	上肢の痛みに対する治療的アプローチの実習								
8	腰部・下肢の痛みに対する治療的アプローチの実習								

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。